

別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称	第2回佐野市保育所整備推進委員会
1 開催日時	平成25年3月22日（金）10時00分～11時00分
2 開催場所	佐野市文化会館 204会議室
3 委員等の人数	13人
4 出席委員等の人数	8人
5 議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 佐野市保育所整備運営計画の進捗状況について 2. 子ども・子育て関連法について
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	1人
8 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野市保育所整備運営計画の進捗状況について（資料1） ・子ども・子育て関連法について（資料2）
9 会議の概要 (発言の要旨)	別紙のとおり
10 その他	

別紙 会議の概要（発言の要旨）

1. 協議事項（議事）

- ① 議事1について事務局より説明を実施した。これに対して、次の様な質疑・意見があった。
 - ・整備計画表の中期に位置付けられる園の整備進捗状況はどの様であるか。（まず（仮称）よねやま保育園の着手が予定されている。平成25年度での次園の着手は、事実上不可能である。佐野市の後期計画策定の中で、年度を決めていきたい。）
 - ・整備運営計画には、公立保育所の整備・統廃合と合わせて、民間への移行という面もある。現在、公立保育所・私立保育園・認定こども園がよい形で保育環境を担っているが、今後少子化の進行により、園児の「獲得合戦」が起きてしまう可能性がある。こういう事は避けたいが、市としての考えはどうか。
（子ども・子育て会議、後期計画策定、子ども・子育て支援計画に係わるニーズ調査等との関連もあり、「公立10園・民間10園」という目標の見直しも考えられるが、現状では、不確定要素が多い。）
 - ・直近のニーズ調査は大事だが、人口動態から少子化は明瞭である。幼稚園・保育園がけん制し合う構図が生まれたりしない様に、ある程度中長期的展望を示してもらいたい。
 - ・整備運営計画では、幼稚園が認定こども園として、低年齢児の受け皿となるのはいい方向だ。ただし、企業参入による営利追求や保育の質低下は望ましくないと考える。
 - ・整備運営計画を介して、公立と民間（企業）のバランス・協力関係を図るのは良い。計画の見直しもある程度の年数で考えるべきでは。
 - ・（委員に）あづま保育園開園後、子どもたちがどの様に保育されているか、報告や見学させてもらえると有難い。完成した園の反省点を次の整備に生かしてもらいたい。
- ② 議事2について事務局より説明を実施し、意見を求めた。これに対して、次の様な質疑・意見があった。
 - ・地方版の「子ども・子育て会議」の設置時期はいつ頃か。平成25年7月にはニーズ調査取りまとめ、報告とある。ニーズ調査結果精査のために、「子ども・子育て会議」が機能していることが大事である。
（スケジュールがタイトであることは認識している。担当課に伝える。）
 - ・子ども・子育て関連法について、詳細が示されていないために、現場としては不安面がある。市町村の保育への責任も後退している面がある。市町村の保育義務の規定は残った。これを抛りどころとしてもらいたい。
 - ・「子ども・子育て会議」の所管はこども課となっているが、保育課に関する領域が多い。保育の質という点では、保育課からの意見発信を十分してもらいたい。
 - ・アンケートに関して、預ける側のニーズは勿論だが、子どもの視点でのニーズも大事であり、これをこの会議などで代弁していく必要がある。